

アルミ輸出は地金、スクラップとも増加

橋本金属 橋本健一郎氏リポート②
・アルミ



橋本健一郎氏
好材料もあったが、九月の中
國貿易黒字は四一九・九億ドル、予想の五三〇
億ドルは下回る。輸出は前年同月比一〇%減、
予想の三%減を大幅に下回る。輸入は一・九%
減、予想は一%増。一九月の輸出は前年比
七・五%減、輸入は八・二%減。と輸出、輸入共
に大幅悪化した事から、LMEアルミ相場はD
OWN。十月十六日時点で一・六五九・五ドル
(現物後場買入)と月初価格から三ドルDOWN
の前半締めとなつた。

後半は、ECBは政策金利を据え置き。ユーロ

圏経済は安定的に回復、低金利は金融政策の波
及を妨げていないとのドラギ発言や「ヨーロク債
券市場で長期金利の指標となる一〇年物国債利
回りが一時一・八七%に上昇(価格は下落)し、
ほぼ五ヶ月ぶりの高水準を付けた」とによる利上
げ懸念の再燃などのマイナス材料もあつたが、原
油が米在庫の減少を受けて一年半ぶりに五ドル
をつけたこと、中国市場で鉄鉱石先物、銅先物
価格が急騰したことを受けた大幅UPとなつた。
中国の鉄鉱石先物は四七一・五元(約七〇ドル)
まで急騰したことを感じしLMEアルミ(現物後場)
P、十一月二日現在でLMEアルミ(現物後場)
一、七一八ドルと後半スタート価格から五八・五
ドルUPしてのスタートとなつた。

◆月間のドル/円レート (TT.S)

日本自動車工業会によると自動車生産台数は
前年比一・四%増の八四万台、八九一台であつた。

◆自動車生産台数

日本自動車販売協会連合会によると、自動車
販売台数(軽除)は前年比〇・八%増の二四万
二・八六九台。

◆新設住宅着工戸数

国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数
は前年比一〇%増の八万五、六二三戸であつた。

◆貿易関連指標

財務省貿易統計によれば輸出はアルミ新地金
が前年比一四一・六%増の一六二t、二次合金
が三七・一%増の一、七七八t、スクランプが二
一・七%増の九、六二六t、アルミ缶が三六・六
%増の四、五一〇t。

輸入
輸入は新地金が前年比三二・八%増の一三万
月比一二・一%増)。

十月前半は、九月の〇P
ECの非公式会合でサウジ
が増産凍結に合意 前向き
な姿勢を示したことなどの中
好材料もあったが、九月の中
國貿易黒字は四一九・九億ドル、予想の五三〇
億ドルは下回る。輸出は前年同月比一〇%減、
予想の三%減を大幅に下回る。輸入は一・九%
減、予想は一%増。一九月の輸出は前年比
七・五%減、輸入は八・二%減。と輸出、輸入共
に大幅悪化した事から、LMEアルミ相場はD
OWN。十月十六日時点で一・六五九・五ドル
(現物後場買入)と月初価格から三ドルDOWN
の前半締めとなつた。

後半は、ECBは政策金利を据え置き。ユーロ

六・五三四t、一次合金が七・〇%増の九万〇t、
四三五t、スクランプが六九・二%減の二二五t、
合金スクランプは三五・八%減の一・二八八t。
■前月の国内指標

日本アルミニウム協会発表の庄延品の生産出
荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比
一・三%減の一七万一、八七四t。

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム
二次合金・同合金地金等生産実績は、前年比一・
九%増の六万九、六三一tであった。

概況

【自動車販売】

九月の四輪車生産台数は八四万〇、八九一
台で、前年同月比一・四%の増加となり、二力
月連続前年同月を上回つた。

輸出は四三万五、〇二八台で前年同月比三・
七%の増加。

【自動車販売】

十月の国内自動車販売台数(軽は除く)は二
四万二、八六九台で前年比〇・八%増。三カ月
連続プラス。

このうち、乗用車は一・六%増、貨物は四%
減、バスは九・四%増。

【住宅着工数】

平成二八年九月の住宅着工戸数は八万
五、六二二戸で、前年同月比で一〇・〇%増
となつた。また、季節調整済年率換算値では九
八・四万戸(前月比三・〇%増)となつた。

・住宅着工の動向については、前年同月比で
三カ月連続の増加となつており、利用関係別に
みると、前年同月比で持家、貸家、分譲住宅と
もに増となつた。

・引き続き、今後の動向をしっかりと注視して
いく必要がある。

(持家)

前年同月比では八カ月連続の増加(前年同月比
一・四%増、季節調整値の前月比では〇・四%減)。
(貸家)

前年同月比では二カ月連続の増加(前年同月比
一二・六%増、季節調整値の前月比では〇・四%減)。
(分譲住宅)

前年同月比では先月の減少から再びの増加
(前年同月比一七・〇%増、季節調整値の前月
比では二四・一%増)。

・分譲マンション

前年同月比では先月の減少から再びの増加
(前年同月比二三・〇%増)。

・分譲一戸建住宅

前年同月比では二カ月連続の増加(前年同
月比一二・一%増)。(六面へ続く)

(四面より続く)

【アルミニウム一次合金・同合金地金等生産実績】

前年比二・九%増の六万九千六三百一tと二・九%月連続プラス。出荷は一・六%増の七万一千、〇三四tと一カ月連続プラス。

カスト一・二%増、板九・九%減、押出〇・一%増、鐵鋼九・九%増、合金地金メーカ一三・五%減。

一・三%減と一力月振りマイナスの一七万
一、八七四t。
【前出】アレミ所地金が前年比一四一・六%

輸出アリミ新規が前年比一四二・八%増の一六二t。二次合金が三七・一%増の一、七七八t。スクラップが二一・七%増の九、六二六t。アルミ缶が三六・六%増の四、五一〇t。

の一二万六、五三四t。二次合金が七・〇%増の九万〇、四三五t。スクラップが六九・二%減の二二五t。合金スクラップが三五・八%減の二、一八八t。

【見通し】

・自動車は生産が一・四%増、十月の国内販売台数が前年比〇・八%増。生産が二ヶ月連続プラス、販売が三ヶ月連続プラス。販売は三ヶ月連続増だから幅が縮小しており、今後の動向に注目。

住宅ともに増となつた。 住宅着工の動向は、前年同月に
で三ヶ月連続の増加となつており、利用関係
別にみると、前年同月比で持家、貸家、分譲

- ・引き続き、今後の動向をしきりと注視していか必要がある。

- ・アルミニウム二次合金・同合金地金等生産スに転じたが、出荷は二ヶ月連続プラス。
- ・実績は、生産出荷とともに二ヶ月連続プラス。
- ・輸出は国内相場の低迷、円安要因を受け全品種増加。
- ・輸入は自動車関連の二次合金は増加、スクラップは減少。

流通在庫は、前月に続き自動車生産、住宅着工、二次合金などの生産増はあるが、円高を受けての安い輸入塊の流入から需給は過剰気味になるのではないか。
ただ、現在ドル円が一〇四円台と円安のため来月以降需給が引き継まる可能性あり。

【価格・為替予想】

される

中国に関するでは、中国政府が空港及び高速道路に五三七・九億元(約七九億\$)の予算を承認したこと、十月の中国製造業P.M.I.が五一・二と予想の五〇・三を大きく上回ったことなど、ようやく対策、回復の芽が出てきており、また前記政策は金融政策ではなく景気対策であることから今後も更なる景気対策が期待される。

米大統領選に関しては十一月八日に一般投票が行われ、そこが一つの節目、当初はクリントン女史の優勢が伝えられていたが、FBI がメール問題を再調査するとの報道を受け、トランプ氏が現在優勢との事。

主党のどちらが多いかが注目される。
それらを踏まえた十月のアルミニウム価格は、中國で追加的な景気対策が行われ、米大統領選一般投票で民主党優勢などの報道がなされた場合は、一八〇〇ドルを予測。いずれかの場合には一、七〇〇ドル。下値はいずれの条件も達成できなかつた場合、七月安値の一、六〇〇ドル。

ドル高、共和党優勢なら円高ドル安に振れるので、十一月八日のその結果次第ではないか。それらを踏まえ予測は、上値は大統領一般投票で共和党トランプ氏が有利な報道がされた場合、一〇一円台（TTM）を予測。民主党クリントン女史有利が報道された場合、現状の一〇五円を予測。

程度と予測している。

	入庫	出庫	11月4日 現在	増	減
銅	2,975	9,575	298,400	-	6,600
{ G A W	0	0	0	±	0
{ G A C	2,975	9,575	298,400	-	6,600
す	ず	0	25	2,930	-
鉛		0	225	188,125	-
亜鉛 S H G	0	300	449,050	-	300
アルミ	0	5,275	2,125,800	-	5,275
ニ リ 次 合 金	0	0	13,680	±	0
ニッケル	0	546	363,162	-	546
アルミニウム(NASA A)	200	0	79,060	+	200